

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

大福製紙株式会社



バガスを活用した紙糸デニムのプロジェクト

バガス(サトウキビの搾りかす)は、製糖の副産物として沖縄では年間約 20 万 t 発生しており、一部は燃料・飼料として利用されていますが、多くは廃棄され多くの焼却コストが発生します。余剰バガスをアップサイクルするため、沖縄発の「SHIMA DENIM プロジェクト」に参加しました。

沖縄県で粉末状に加工されたバガスを大福製紙にてマニラ麻パルプと混ぜて和紙を作り、特殊なマイクロスリッターにて 1.5mm~4.0mm にスリット後、撚りを掛けて和紙糸を生成し、その後広島県福山市で織布されデニムジーンズが完成します。

この技術を利用してサッポロビール社ではビールづくりで発生する副産物(ホップの茎・葉、モルトフィード)を原料にした和紙糸がサッポロ生ビール黒ラベルとコラボレーションしデニムとし製造・販売されています。



詳細はこちら

